温井ダム自然観察ガイドマップ　～温井ダムの周りでみられる鳥を探しに行こう！！～

Nukui Dam

散策ルート①（滝山川沿い道路）
散策ルート②（雑野原キャンプ場遊歩道）
散策ルート⑧（下流河川）

主にみられる鳥類

● 留鳥（１年中見られる）

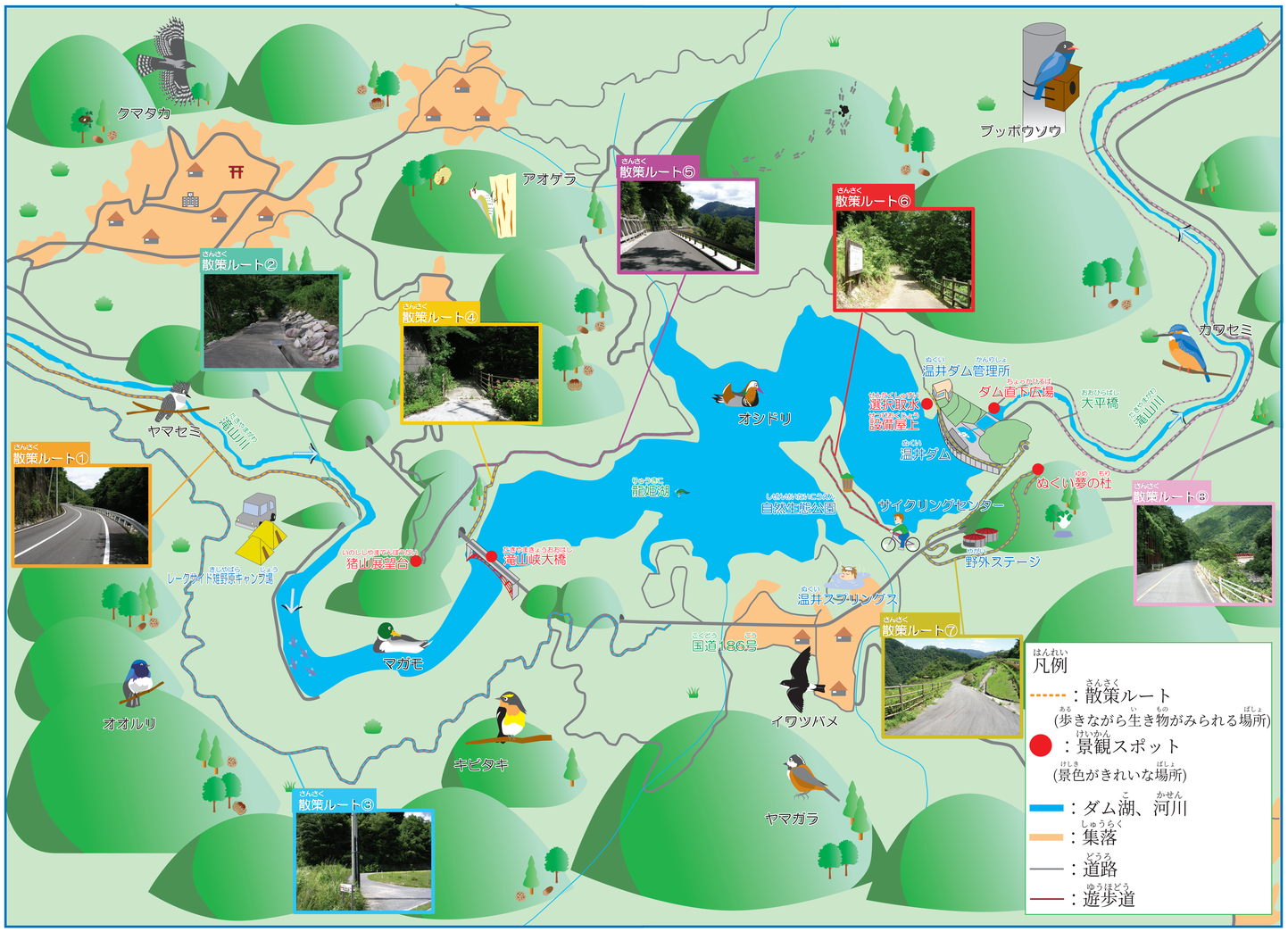
アオサギ、カワウ、キジバト、アオバト、ヤマセミ、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、カワガラス、ミソサザイ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、ハシブトガラス、ドバトなど。

● 夏鳥（主に夏に見られ繁殖する）

ブッポウソウ(5～8月)、ヤブサメ(4～10月)、オオルリ(4～10月)、ツバメ(3～10月)、イワツバメ(3～10月)、ノビタキ(4～10月)など。

● 冬鳥（主に冬に見られる）

キクイタダキ(10～4月)、ミヤマホオジロ(10～4月)、ジョウビタキ(10～3月)、アオジ(10～5月)、カヤクグリ（11～3月）、アトリ（10～4月）など。



たくさんの鳥を探しに温井ダムに遊びに来てね！

散策ルート⑥（自然生態公園）
散策ルート⑦(ダム堤体周辺)

主にみられる鳥類

● 留鳥（１年中見られる）

トビ、クマタカ、キジバト、ヤマセミ、コゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、モズ、カケス、ハシブトガラスなど。

● 夏鳥（主に夏に見られ繁殖する）

サシバ(4～11月)、ヤブサメ(4～10月)、ツツドリ(4～6月)、イワツバメ(3～10月)など。

● 冬鳥（主に冬に見られる）

ルリビタキ(11～4月)、ミヤマホオジロ(10～4月)、ハギマシコ(10～4月)など。

散策ルート③（林道沿い）

主にみられる鳥類

● 留鳥（１年中見られる）

ヤマドリ、キジバト、アオバト、オオアカゲラ、アオゲラ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、イカル、カケスなど。

● 夏鳥（主に夏に見られ繁殖する）

オオルリ(4～10月)、アカショウビン(5～7月)、ヤブサメ(4～10月)、キビタキ(4～10月)など。

● 冬鳥（主に冬に見られる）

ジョウビタキ(10～3月)、ツグミ(10～5月)、ルリビタキ(11～4月)、ウソ(11～4月)など。

散策ルート④(遊歩道沿い)
散策ルート⑤(湖岸道路沿い)

主にみられる鳥類

● 留鳥（１年中見られる）

カイツブリ、ミサゴ、ヤマドリ、キジバト、アオバト、オオアカゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、イカル、カケスなど。

● 夏鳥（主に夏に見られ繁殖する）

アカショウビン(5～7月)、ヤブサメ(4～10月)、キビタキ(4～10月)、オオルリ(4～10月)など。

● 冬鳥（主に冬に見られる）

オシドリ(11～4月)、マガモ(10～4月)、ジョウビタキ(10～3月)、ツグミ(10～5月)、ベニマシコ(11～4月)など。

自然観察時の注意

- 道のない所に入らない。
- むやみに動物や植物をとらない。
- 川の中では子供だけで遊ばない。
- ゴミは捨てずに持ち帰る。

危険な動物にも注意しよう！

● ハチ(オオスズメバチなど)
① 巣に近づかない。
② ハチが近づいても追い払わない。
③ 襲われたら地面に伏せて動かない。

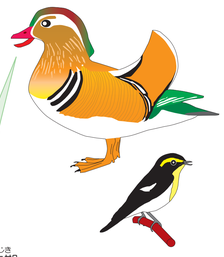
● ツキノワグマ
①山の中に入る時は、クマに出会わないために、クマ鈴やラジオなどの音の出るものを持ち歩く。

● ヘビ（マムシ、ヤマカガシ）
① 道のない所を歩かない。
② 足元に気をつける。

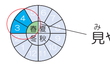
温井ダム周辺で暮らす鳥の紹介

Nukui Dam

温井ダム周辺には、カイツブリ、オシドリ、マガモなどのダム湖面を利用する種、ミサゴ、クマタカなどのワシタカ類、アオサギ、ヤマセミ、カワセミなどの水辺で生活する鳥類、アオゲラ、エナガ、ヤマガラなどの森林で生活する鳥類など合計100種の鳥類が見られます。



生息場：おもに見られる場所
生態：子育ての方法や鳴き声など



カイツブリ（カイツブリ科）

生息場：池、湖沼、河川にいます。
生態：水草の葉や茎で水面に巣をつくって繁殖します。「キリッキリッキリ」「ピッ」などと鳴きます。
餌：水中に潜り、魚などを食べます。

カワウ（ウ科）

生息場：海岸、河川、湖沼にいます。
生態：11～6月に水辺近くの林で集団で繁殖します。繁殖期は「グルル」「グワー」などと鳴きます。
餌：水中に潜り、魚などを食べます。

オシドリ（カモ科）

生息場：山間の渓流や湖沼などにいます。
生態：雄は橙色の色をした美しい鳥です。4～7月に水辺の林に移動し、木の穴で繁殖します。
餌：ドングリなどを食べます。

マガモ（カモ科）

生息場：河川、湖沼、海岸などにいます。
生態：夜間に湿地や水田などでエサを食べます。「グァークワックワッ」「グェーグェー」などと鳴きます。
餌：草の実や水草などを食べます。

ヤマセミ（カワセミ科）

生息場：山地の渓流や湖沼にいます。
生態：川や湖沼の岸辺やその近くの土の崖にくちばしを使って深さ90～140cm位の巣穴を掘ります。
餌：水中に飛び込み魚などを食べます。

カワセミ（カワセミ科）

生息場：川、池、湖沼などにいます。
生態：コバルト色の背と橙色のお腹をした美しい鳥です。水辺の土の崖に50～100cm位の深さの巣穴を掘ります。
餌：水中に飛び込み魚などを食べます。

カワガラス（カワガラス科）

生息場：山間部の渓流などにいます。
生態：滝の翼の岩のすき間や、橋の下などの人工物にも巣を作ります。「ピッピッ」などと鳴きます。
餌：カワゲラなどの水生昆虫を食べます。

ミサゴ（タカ科）

生息場：河川、湖沼、海岸にいます。
生態：人気のない海岸の岩の上や、水辺に近い大きな木の上に枯れ枝を積んで巣を作り、子育てをします。
餌：魚を食べます。

アオサギ（サギ科）

生息場：河川、湖沼、水田などにいます。
生態：4～5月に林などの樹上で集団繁殖します。繁殖期には「クァー」「ゴァー」と大きな声で鳴きます。
餌：魚、カエルなどを食べます。

セグロセキレイ（セキレイ科）

生息場：川や湖沼の岸にいます。
生態：川岸の植物や岩の下などの陰に、枯れ草や細い根で巣を作ります 。「ツィツィツィー」などと鳴きます。
餌：水辺の昆虫を食べます。

キセキレイ（セキレイ科）

生息場：おもに渓流沿いにいます。
生態：石垣、崖などの凹み、人家の屋根のすき間などに巣を作ります。「チチン、チチン」などと鳴きます。
餌：水辺の昆虫などを食べます。

カワラヒワ（アトリ科）

生息場：平地から低山地の林にいます。
生態：枝の茂みに細い根、枯れ茎や市街地ではビニールひもで巣を作ります。「キリキリ」「ビーン」などと鳴きます。
餌：草の実などを食べます。

ヤマガラ（シジュウカラ科）

生息場：常緑・落葉広葉樹林にいます。
生態：背と腹が赤茶色です。木の穴や巣箱の中に巣を作ります。「ツーツー、ピィー、ツツピー」鳴きます。
餌：昆虫や木の実などを食べます。

ブッポウソウ（ブッポウソウ科）

生息場：低山の森林にいます。
生態：木の穴やキツツキの古巣に巣を作ります。中国地方では、木の電柱に穴を掘って巣を作ることもあります。
餌：大型の昆虫を食べます。

エナガ（エナガ科）

生息場：平地から山地の森林にいます。
生態：背にワインレッドの羽を持った尾の長い鳥です。木の枝に巣を作り、4～6月に7～13個の卵を産みます。
餌：昆虫、クモ、実などを食べます。

メジロ（メジロ科）

生息場：平地から山地の林にいます。
生態：黄緑色で目の周りが白い鳥です。コップ状の巣をクモの糸、ビニールのひもなどを使って作ります。
餌：果実、花の蜜、昆虫を食べます。

アオゲラ（キツツキ科）

生息場：平地から山地の林にいます。
生態：4～6月に、木の幹にくちばしで穴を掘って卵を産みます。繁殖期に「ピョー、ピョー」と大きな声で鳴きます。
餌：昆虫やその幼虫などを食べます。

オオルリ（ヒタキ科）

生息場：おもに谷沿いの林にいます。
生態：高い梢でさえずる、ルリ色の背をした綺麗な鳥です。枝先から谷間の上空で飛んでいる昆虫類を捕まえます。
餌：昆虫を食べます。

キビタキ（ヒタキ科）

生息場：山地の落葉広葉樹林にいます。
生態：黄色い胸を張って、鮮やかにさえずり、バードウオッチャーに人気のある鳥です。飛ぶ昆虫を捕えます。
餌：昆虫を食べます。

ホオジロ（ホオジロ科）

生息場：明るい林や草原にいます。
生態：白いほおが目立つ鳥です。低木の枝の上または地上に、イネ科植物で巣を作ります。
餌：植物の実、昆虫を食べます。

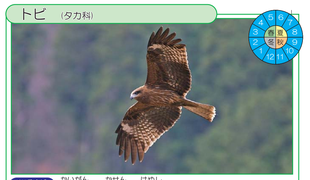
クマタカ（タカ科）

生息場：自然ゆたかな森林にいます。
生態：日本に生息するタカ類の中で最も大きく、広い森林内の木の枝上に枝を積んで巣を作ります。
餌：ノウサギ、ヘビなどを食べます。

ハギマシコ（アトリ科）

生息場：平地や低山の林にいます。
生態：数十羽から数百羽の群れで行動します。地上ではねぢ歩いたりしながらエサを探して食べます。
餌：植物の実などを食べます。

トビ（タカ科）



生息場：海岸、河川、林などにいます。
生態：4～5月に大木の枝上に枯れ枝を積み重ねて巣を作ります。「ピーヒョロロロ」と鳴きます。
餌：昆虫、魚、鳥など色々食べます。

ルリビタキ（ツグミ科）

生息場：渓流沿いの林などにいます。
生態：背中のルリ色と橙色が鮮やかです。木の枝に止まって地上を見張り、エサをみつけ、舞い下りて食べます。
餌：昆虫やクモを食べます。

ツグミ（ツグミ科）

生息場：林や農耕地、芝生などにいます。
生態：地上を数歩歩いては立ち止まることを繰り返しながらエサを探します。「キョッ、キョッ」などと鳴きます。
餌：昆虫や木の実などを食べます。

ウグイス（ウグイス科）

生息場：低地から山地に広くいます。
生態：古くから和歌に登場するなど、日本では最も人に知られている鳥のひとつで「ホーホケキョ」などと鳴きます。
餌：昆虫を食べます。

シジュウカラ（シジュウカラ科）

生息場：平地から山地の森林にいます。
生態：木の穴、石垣のすき間や巣箱など人工物に巣を作ります。「ツーツーピィー」などと鳴きます。
餌：昆虫や木の実などを食べます。

キジバト（ハト科）

生息場：農耕地、明るい林にいます。
生態：木の枝上に巣を作り、おもに4～6月に2個の卵を産みます。「デデッポーポー」と繰り返し鳴きます。
餌：草や木の実を食べます。

イワツバメ（ツバメ科）

生息場：平地から高山まで広くいます。
生態：元々は山地や海岸の岩壁などに巣を作っていましたが、近年は建造物や橋の下に巣を作ります。
餌：昆虫を食べます。

ジョウビタキ（ツグミ科）

生息場：農耕地、明るい林のへりにいます。
生態：低い枝や杭の上などに止まり、地上に舞い下りてエサをとります。「ヒッヒッ」などと鳴きます。
餌：昆虫や木の実などを食べます。

ムクドリ（ムクドリ科）

生息場：河川、湖沼、林縁などにいます。
生態：人気のない海岸の岩の上や、水辺に近い大きな木の上に枯れ枝を積んで巣を作り、子育てをします。
餌：魚を食べます。

モズ（モズ科）

生息場：農耕地、林縁などにいます。
生態：捕まえた昆虫を木のとげなどに刺しておく習性があります。また、他の鳥の鳴きまねがとても上手です。
餌：昆虫などの小動物を食べます。

ヒヨドリ（ヒヨドリ科）

生息場：低地から山地に広くいます。
生態：古くから和歌に登場するなど、日本では最も人に知られている鳥のひとつで「ホーホケキョ」などと鳴きます。
餌：昆虫を食べます。

ヒヨドリ（ヒヨドリ科）

生息場：平地から山地の林にいます。
生態：繁殖期は5～7月ごろで、枯れ枝や枯れ木に穴を掘って巣を作ります。「ギィー」と鳴きます。
餌：昆虫などを食べます。

ルリビタキ（ツグミ科）

生息場：渓流沿いの林などにいます。
生態：背中のルリ色と橙色が鮮やかです。木の枝に止まって地上を見張り、エサをみつけ、舞い下りて食べます。
餌：昆虫やクモを食べます。

◎写真提供
① 中嶋　洋
② ㈱建設環境研究所

※上記以外の写真は、現地で撮影した写真や温井ダムの生物調査報告書等の既往資料に掲載されている写真を使用しています。